

2018年度 日本臨床検査医学会 第1回 理事会（新理事・監事）議事録

日時：2018年3月24日（土）14：00～15：00

場所：学士会館 2F 202号室 東京都千代田区神田錦町 3-28（〒101-8459）

出席：矢富 裕 理事長、山田俊幸副理事長、村上正巳総務理事、古川泰司会計理事、東條尚子庶務理事
宮地勇人、〆谷直人、木村 聡、古田 耕、松尾収二、吉田 博、大西宏明、柴田綾子、長沢光章、
下 正宗、藤井 聡、東田修二、田中靖人、通山 薫、松永 彰 各理事
高木 康 監事（21名）

欠席：萱場広之、小柴賢洋 各理事 福武勝幸 監事（3名）

定時社員総会で、理事、監事の承認がされ、直後の理事会であるため、高木康監事が議長となり、審議事項の理事長選任についての議長を務めた。

I 審議事項

1. 理事長の選任について（高木康 監事）

次期選挙理事候補者による、2018・2019年度理事長予定者の選挙（2018年1月25日締切、1月27日開票）により、立候補した矢富裕氏が次期理事長予定者となったことが報告され、矢富裕理事の理事長選任について諮られ、承認された。

II 理事長挨拶（矢富裕 理事長）

矢富裕理事長より、新体制で最初の理事会にあたっての挨拶、そして今後の協力依頼があり、議事を進めた。

III 審議事項

1. 副理事長、常任理事の指名について（矢富裕 理事長）

2018・2019年度の副理事長として山田俊幸理事、常任理事として村上正巳理事、東條尚子理事、古川泰司理事の3名が指名され、承認された。

この議事終了後、新理事会を中断し、中断していた定時社員総会を再開し、矢富裕新理事長が議長となり、選任された矢富裕理事長、指名された山田俊幸副理事長、常任理事の村上正巳理事、東條尚子理事、古川泰司理事の報告を行った。

その後、新理事会を再開した。

IV 報告事項

1. 2019年度からの名誉会員、功労会員、評議員の推薦依頼について（矢富 裕 理事長）

・名誉会員、功労会員の資格要件、各支部の名誉会員、功労会員該当者が報告され、支部より、9月30日までに、本人の承諾を得たうえでの推薦が依頼された。

・評議員の資格要件、支部正会員の10%の評議員候補者定員数が示され、9月30日までに、都道府県別、所属機関別に偏らないよう検討のうえでの推薦依頼がなされた。

2. 認定試験日程等について（矢富 裕 理事長）

1) 臨床検査専門医認定試験（東京 2018/8/4(土)～5(日)）

第35回臨床検査専門医認定試験（2018年度）は、2018年8月4～5日(土日)、帝京大学医学部（古川泰司 試験実行委員長）で実施予定であり、臨床病理1月号、ホームページに試験要領を公開したことが報告された。

2) 臨床検査管理医講習・認定試験について（東京 2018/8/5(日)）

第10回臨床検査管理医講習・認定試験（2018年度）は、2018年8月5日(日)、帝京大学医学部（東田修二試験

実行委員長)で実施予定であり、試験要領は、臨床病理3月号、4月にホームページに掲載予定であることが報告された。

3. 2018年度学会賞：功労賞・河合忠賞の推薦依頼について(矢富 裕 理事長)

2018年度学会賞：功労賞・河合忠賞候補者の推薦依頼があり、規定に合致した候補者について推薦理由を添えて7月30日までの推薦依頼がなされた。

4. 関連団体等への派遣委員等について(矢富 裕 理事長)

前回、理事会12月23日以降の当会からの派遣委員等について報告された。

1) 「梅毒血清反応検査に関する検討ワーキング(仮)」(2018/1/26、2/2 推薦)

古川泰司 先生 (GL作成委員会委員長 循環器担当)
飯沼由嗣 先生 (GL作成委員会 感染症担当)
田中靖人 先生 (GL作成委員会 消化器・肝臓担当)

2) 臨床検査振興協議会

- ・ゲノム検査に関する小委員会(仮称)(2018/2/5 推薦)
松下一之 先生、横田浩充 先生
- ・将来ビジョン委員会(仮称)(2018/2/9 推薦)
矢富 裕 先生、村上正巳 先生

3) 認定輸血検査技師制度審議会 資格審査委員会委員(任期：2018/6/1-2019 総会終了まで)

大西宏明 先生

4) 日本検査血液学会(任期：2018/01/01~2019/12/31)

認定血液検査技師制度 審議会委員：海渡 健 先生
認定血液検査技師制度 協議会委員：米山彰子 先生

5) 日臨技 認定心電検査技師制度委員(任期：2018/6~2020/6 総会まで)

古川泰司 先生、本間 博 先生、石井潤一 先生、中山智祥 先生、横山直之 先生

6) 日臨技 第67回 日本医学検査学会

2018年5月12日(土)13:20~14:50のシンポジウムⅡ(精度管理)

"法改正を受けての検体検査の品質・精度管理のあるべき姿"

- ・座長：村上正巳 先生

シンポジウムⅡ 2) 「遺伝子関連検査における法改正への取組と今後の展望」

- ・演者：前川真人 先生。

5. 第4回山上の光賞募集案内について(矢富 裕 理事長)

第4回山上の光賞募集案内が紹介された。しかし、推薦期日が迫っていたため、今回は推薦を見送ることとなった。

6. その他

1) 支部活動費、第65学術集会、第66回学術集会補助金、第35回専門医認定試験費用送金について

(古川泰司 会計理事)

以下報告と依頼がなされた。

- ・支部活動費(一律20万円+支部会員数×500円)を送金する。各支部の送金口座情報と2017年度の支部会計報告の提出を依頼した。
- ・第65回学術集会に400万円、第66回学術集会に100万円を補助金として送金する。
- ・第66回学術集会の送金口座開設を依頼した。
- ・臨床検査専門医認定試験費用送金200万円を試験実行委員会に送金する。

V 審議事項

1. 理事の担当について(矢富 裕 理事長)

2018・2019年度理事の担当が提案され、承認された。

2. 2016・2017年度各種委員会、委員長について(矢富 裕 理事長)

2018・2019年度各種委員会と担当理事、審議会委員長が提示され、承認された。

なお、委員長については、担当理事が現委員長と相談のうえ推薦いただき、その後、委員長に委員の推薦をお願いするよていであることが報告された。

3. 第 68 回学術集会長について（矢富 裕 理事長）

学術集会の開催場所は、支部持ち回り制で均等ではなく、会員数（評議員数）に応じて支部毎の開催頻度を調整すること、そのため、過去 20 回の学術集会の開催場所（支部）と会員数（評議員数）を比較して開催回数頻度が低い、①関東・甲信越支部、②東海・北陸支部となった学術集会企画委員会からの答申が再度、報告され、この 2 支部の何れかでの開催が提案のうえ承認された
これにより、関東・甲信越支部と東海・北陸支部へ第 68 回学術集会長の推薦依頼がなされた。

4. 理事・監事の任期について（矢富 裕 理事長）

現在、当会では、理事は 2 年任期、監事は 4 年任期で重任は 8 年までと規定されているが、法人の法令は任期には制限がなく他学会なども制限は加えていない。このような縛りがあるのは人材が生かされないと思われるため、当会も任期制限の撤廃が提案された。賛成意見と、やはり制限は必要という意見があり継続審議することとなった。

5. その他

矢富裕理事長より、理事に対して今後の目標、当会に関しての意見などが求められた。

- 1) 英文誌の検討の提案があった。
 - 2) 日本臨床衛生検査技師会との提携の在り方として、支部会などの合同開催などが提案された。
 - 3) 交通費などの経費削減、日程調整も難しくない web 会議の提案があった。
- 上記について、今後、検討することとなった。

2018 年度理事会日程について（東條尚子 庶務理事）

2018 年度理事会は、開催時間 13：30～16：30 で、第 2 回：9 月 1 日（土）、第 3 回：10 月 27 日（土）、第 4 回：12 月 22 日（土）に開催することが報告された。

V 閉会

矢富裕理事長より、閉会の言葉があり、本理事会は閉会された。

以上

議事録署名人

理 事 長

矢 富 裕 ㊟

副理事長

山 田 俊 幸 ㊟

監 事

高 木 康 ㊟